

四国イノベーションピッチ2024

～ 四国5大学の「脱炭素」関連有望研究シーズが集結 ～

四国経済連合会では、「脱炭素」をテーマに、四国にある5国公立大学（徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、高知工科大学）から、有望な研究シーズをご紹介いただくピッチイベントを開催いたします。

オープンイノベーションや新規事業の探索、ベンチャー投資先の発掘などにつながる貴重な機会になるものと存じますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2024年1月25日(木)13:30～15:55

参加費
無料

開催方法：オンライン(Zoom使用)

〔プログラム〕

13:30～13:35	開会挨拶 四国経済連合会 産業振興委員会委員長 大塚岩男（伊予銀行会長）
13:35～14:45	プレゼンテーション10分×6件…プレゼン概要等は裏面をご覧ください。
14:45～14:55	<休憩>
14:55～15:55	個別面談 20分/回 【事前予約制】

タイトル	登壇大学
脱炭素社会の実現に向けたCO2フリーバーナーの開発	香川大学
海の藻場造成と防災機能を兼ね備えた環境調和型構造物の開発	香川大学
地産地消によるバイオガスからLPガスへの転換技術の開発	愛媛大学
可逆的な化学反応を利用した二酸化炭素吸収セラミックスの開発	高知大学
高効率二酸化炭素回収システムに資する多孔性結晶の開発と機能解析	高知工科大学
食品ロスを利用した化粧品、医薬品、化成品原料の創製 ～新たなビジネスモデル創出による脱炭素社会の実現～	徳島大学

■ 視聴&個別面談のお申込方法・・・2024年1月17日(水)締切

- ・四国経済連合会HP【<https://www.yonkeiren.jp>】にアクセスし、「四経連の今後の行事予定」⇒「四国イノベーションピッチ2024開催のご案内」からお申込みください。
- ・全プレゼンテーションの終了後、登壇者との個別面談（オンライン）の時間を設けております。登壇者の研究内容にご興味のある方は、視聴申込と併せて上記HPからお申込みください。



こちらからもお申込み
いただけます。

■ その他

- ・お申込みいただいた方には、ご登録されたメールアドレスに視聴用URLを送信します。1月22日(月)までにメールが届かない場合は下記までお問い合わせください。
- ・個別面談にお申込みの方には、別途事務局より面談時間など詳細をご連絡いたします。
- ・登壇者から事務局を通じて個別面談のお願いをさせていただく場合がございます。そのため、視聴企業名を登壇者に事前開示することをご了承いただきますようお願いいたします。

【主催】 四国経済連合会
【後援】 四国経済産業局
【開催協力】 三井住友信託銀行(株)、四国アライアンス [(株)阿波銀行、(株)百十四銀行、(株)伊予銀行、(株)四国銀行]
(株)徳島大正銀行、(株)香川銀行、(株)愛媛銀行、(株)高知銀行、(一財)四国産業・技術振興センター
【お問合せ先】 四国経済連合会 産業経済部 滝川 TEL:087-851-6032 E-mail:takigawa@yonkeiren.jp

四国イノベーションピッチ 2024 登壇内容一覧

プレゼン概要と研究者		※登壇予定順
1	脱炭素社会の実現に向けた CO₂ フリーバーナーの開発 日本の CO ₂ 排出量の約 3 割は産業部門・工業プロセスによるものであり、工場の熱源を CO ₂ フリーな燃料に転換していく必要がある。香川大学では NEDO の社会実装プロジェクト（ナフサ分解炉の燃料転換等）に参画し、NO _x 低減と高負荷（高速） 燃焼の同時機能を目指したアンモニアバーナーの技術開発を推進している。	
		香川大学創造工学部 教授 奥村 幸彦
2	海の藻場造成と防災機能を兼ね備えた環境調和型構造物の開発 香川大学では、広大な浅海域を有する瀬戸内海をフィールドに、二酸化炭素の固定化に最も有効な海藻を群生する藻場の造成に関する技術開発を行っている。併せて、多様な海洋生物が共存できる環境作りや防災機能を持つ構造物の開発も進めており、ブルーカーボンによる持続可能な海洋資源の保護と回復を目指している。	
		香川大学創造工学部 教授 末永 慶寛
3	地産地消によるバイオガスから LP ガスへの転換技術の開発 地方では都市部に比べて LP ガスの普及率が高い。本研究では、通常化石由来の LP ガスをバイオガス由来のものに変更することで脱炭素社会に貢献。家畜の糞尿や廃棄された魚介類・農作物の発酵物など現地で得られるバイオガスを一般家庭用の LP ガスに転換するための新しい触媒プロセスの確立を目指している。	
		愛媛大学大学院理工学研究科 講師 山浦 弘之
4	可逆的な化学反応を利用した二酸化炭素吸収セラミックスの開発 特定のセラミックスを用い、CO ₂ の高い選択性、高温下での化学的安定性、そして可逆的な反応特性を活かし、排ガス中の CO ₂ を選択的に分離・回収する新しい技術の開発を進めている。また最近では、温度一定の下で流通ガスの制御のみで実現可能な新たな CO ₂ 回収システムの試作も進めている。	
		高知大学自然科学系理工学部門 准教授 藤代 史
5	高効率二酸化炭素回収システムに資する多孔性結晶の開発と機能解析 CO ₂ の直接大気回収（DAC）システムの開発が注目され、当システムに適した新素材の開発が求められている。本研究では、CO ₂ を効率的に吸着する新規多孔性結晶の構造と機能を詳しく解析。CO ₂ 吸着能の新解析手法のシステム化や新規 CO ₂ 吸着剤の大量合成など、新 DAC システムの開発での事業化を目指している。	
		高知工科大学理工学群 教授 大谷 政孝
6	食品ロスを利用した化粧品、医薬品、化成品原料の創製 ～新たなビジネスモデル創出による脱炭素社会の実現～ 食品廃棄物の減少は、生産から廃棄までのエネルギー消費と温室効果ガスの排出を削減し、脱炭素社会の実現に向けた重要なステップとなる。本研究では食品ロスを利活用し、化粧品、高付加価値物質を創製。資源の効率的な利用や廃棄物削減等の SDG's の達成だけでなく、利益創出型のビジネスモデルの構築を目指している。	
		徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 佐々木 千鶴

以上